

札幌市動物園条例の検討結果報告書

令和2年10月28日

市民動物園会議動物園条例検討部会

■ 目次

1	検討結果報告	1
2	動物園条例検討部会委員名簿	2
3	動物園条例検討部会開催結果	2
4	札幌市動物園条例に関する提言書（案）	別冊

1 検討結果報告

札幌市には、昭和 26 年 5 月に動物 3 種 4 点の展示で、道内初の動物園として誕生した円山動物園があります。令和 3 年 5 月に 70 周年を迎えることとなりますが、これまで何世代にも渡って、親が子どもを連れ、思い出を作る場所として市民に愛されるとともに、動物や自然に触れ、生き物に対する感性を養う機会を提供してきました。豊かな人間社会の発展にどれだけ貢献してきたか計り知れないものです。市民にとっては、現在においても札幌の街に必要な施設と考えられています。

一方で、とりわけ世界的に重要視されている動物園の生物多様性の保全という機能について、日本国内では、動物園設置者が十分に組み合わせていないとともに国民の理解も低いものと考えられます。種の絶滅が急速に進行している現状の下、野生生物を飼育する施設として生物多様性の保全の取組は当然に求められるもので、その取組が行われていない、または生物多様性を損なう行動をしていけば動物園の存在意義にも関わる大きな問題にもなり得ます。

そのため、札幌市は、今一度、動物園の運営で目指すものは何かを見つめ直し、市直営となっている円山動物園の運営方針として「札幌市円山動物園基本方針ビジョン 2050」を平成 31 年 3 月に策定し、生物多様性の保全、教育、調査及び研究、リ・クリエーションを重点的に行うことによって、自然と人が共生できる持続可能な社会の実現を目指すことを明らかにしました。

こうした動きの中、「種の保存や環境教育など動物園の役割を示し、動物福祉に配慮した運営をめざす「動物園条例」を制定する」という市長公約を実現するべく、札幌市は動物園条例の検討を行う専門部会として動物園条例検討部会を設置しました。

本検討部会では、円山動物園の取組を将来に渡って担保すること、広く一般に動物園の役割を周知し動物園が行う生物多様性の保全活動への認識を広めること、円山動物園の他保全を目的とした野生動物を展示する施設の活動が強化されることを実現できる条例となるよう検討を重ねました。

ここに、その検討結果について報告します。

令和 2 年 10 月 28 日
動物園条例検討部会

2 動物園条例検討部会委員名簿

氏名	所属・職名
◎金子 正美	酪農学園大学農食環境学群環境共生学類 教授
○伊勢 伸哉	小樽水族館 館長 公益社団法人日本動物園水族館協会 副会長
黒鳥 英俊	認定 NPO 法人ボルネオ保全トラストジャパン 理事
小菅 正夫	札幌市環境局 参与
遠井 朗子	酪農学園大学農食環境学群環境共生学類 教授
諸坂 佐利	神奈川大学法学部 准教授
佐藤 香	市民委員
巽 佳子	市民委員

◎委員長 ○副委員長

3 動物園条例検討部会開催結果

回	開催概要
第1回検討部会	日時：令和元年10月31日（木）14：00～17：00 内容：検討方針、関連法令等の確認、条例の必要性
第2回検討部会	日時：令和元年12月17日（月）14：00～17：00 内容：条例の必要性、条例の方向性、用語の定義
第3回検討部会	日時：令和2年3月6日（金）13：30～16：30 内容：条例内容案（前文、第1章総則、第2章動物園水族館）
第4回検討部会 ※オンライン会議	日時：令和2年5月18日（月）9：30～12：00 内容：情報提供（基金、動物福祉）、条例内容案（前文、第1章、第2章）
第5回検討部会 ※オンライン会議	日時：令和2年6月16日（火）10：30～12：00 内容：条例内容案（第3章円山動物園）
第6回検討部会 ※オンライン会議	日時：令和2年7月10日（金）13：00～16：30 内容：条例の構成の再検討、第2章動物福祉に関する禁止事項
第7回検討部会 ※オンライン会議	日時：令和2年8月7日（金）9：30～12：00 内容：条例の方向性、条例構成の整理結果、第2章の位置づけ
第8回検討部会 ※オンライン会議	日時：令和2年8月31日（月）9：30～12：00 内容：条例内容案の整理結果（第1章、第2章）、前文、検討報告書案
第9回検討部会	日時：令和2年9月22日（火）10：00～15：30（12：50～13：30 昼休憩） 内容：検討結果報告書案（提言書案）

